

操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すとモードが切り替わります。

(グラフ表示は各モードの分に連動して、1秒ごとに点滅し、5分ごとに点灯します)

ダイビングモード

<リセット表示>

モードマーク
現在時刻
潜水時間

P-8

ダイビングモードに切り替えるには、いずれかのモードのときに◎ボタンを約1秒間押し続けます。なお、ダイビングモードのときに◎ボタンを約1秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。

時刻モード

グラフ表示
曜日
モードマーク
◎ボタン (ライト点灯)
◎ボタン (モード切替)
午後マーク (午前は不点灯)
時・分・秒
時・分・秒
時・分・秒
時・分・秒

<ログデータ表示>

インターバルタイム
潜水開始時刻
潜水時間

(A)を押している間

サイトモード

モードマーク

P-11

IDモード

モードマーク

P-16

アラームモード

モードマーク

P-20

ストップウォッチモード

モードマーク

P-26

タイマーモード

モードマーク

P-23

各モードでボタン操作をした後◎ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

ボタンを押して発光させる

～手動発光～

◎ボタンを押します

◎ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。



オートライトOFFのときも◎ボタンを押すと発光します。

時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻や方位、温度の計測値などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけで文字板が約2秒間発光します。

準備

時刻モードのとき◎ボタンを1～2秒間押し続けて、オートライトONにします。

オートライトONマーク



オートライトONのとき、◎ボタンを1～2秒間押し続けるとオートライトOFFに戻ります。オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

文字板を発光させる



オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。文字板の左右(3時～9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



EL発光についてのご注意

直射日光下では発光が見えにくくなります。発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

オートライトご使用時の注意

オートライトが作動するのは、ONにしてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライトOFFになります。引き続きオートライトを作動させたいときは、再度◎ボタンを1～2秒間押ししてONにしてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。(30ページ「製品仕様」参照)

時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。文字板発光後、時計を傾けたままにしていても、発光は約2秒間のみとなります。時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。ダイビング中など姿勢によってはオートライトが作動しにくい場合があります。

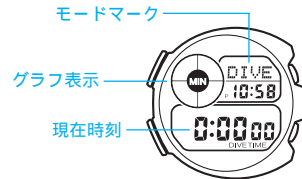
ダイビング機能の使い方

ダイビング機能は計測した潜水時間と潜水開始時刻をメモリーします。(ただし、次の計測を終了させると、前回データは上書きされます)

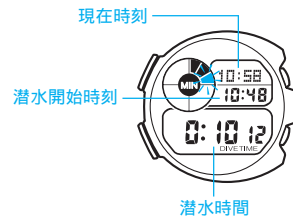
また、潜水時間の計測を終了させると、自動的にインターバルタイム(水面休息时间)の計測を行いません。

表示の見方

<リセット表示>



<計測表示>

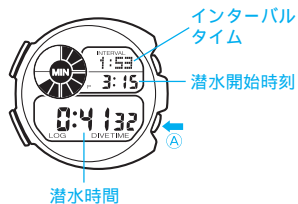


グラフ表示

1秒ごとに点滅し、5分ごとに点灯します。

ログデータを見る

時刻モードで(A)ボタンを押している間、前回の潜水開始時刻、潜水時間、インターバルタイムを表示します。



メモリーできるログデータは1セットで、新たにメモリーさせた場合は、前回のメモリーを消去して最新データのみメモリーします。

ログデータの消去

時刻モードで(A)ボタンを押したまま、(B)ボタンを押します。



計測単位および計測範囲

潜水時間
計測単位 = 1秒
計測範囲 = 23時間59分59秒(24時間)

インターバルタイム
計測単位 = 1秒
計測範囲 = 23時間59分59秒(24時間)
24時間以降は表示しません。

インターバルタイムについて

インターバルタイムは、潜水時間の計測をストップさせてから次の潜水時間の計測をスタートするまでの経過時間です。

インターバルタイムは、時刻モードで(A)ボタンを押している間表示されます。

ご注意

計測中ストップせずに(C)ボタンを約1秒間押し続けると、時刻モードに戻りますが、内部では潜水時間の計測は続けられています。

このとき、潜水時間、潜水開始時刻データはまだメモリーされていません。

前回データを表示します。

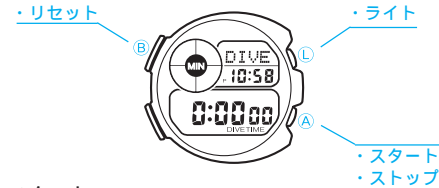
電池が消耗しているときに他のモードから(C)ボタンを約1秒間押し続けても、ダイビングモードに切り替わりません。

このときドット表示部に「BATT」と表示されます。

ダイビングモードに切り替えるには、いずれかのモードで(C)ボタンを約1秒間押し続けます。
時刻モードに戻すには、もう一度(C)ボタンを約1秒間押し続けます。



計測のしかた



スタート

(A)ボタンを押すと、潜水時間計測がスタートします。

ストップ

潜水時間計測中に(A)ボタンを約1秒間押し続けると、ストップします。

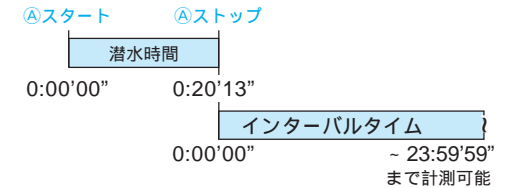
リセット

潜水時間計測がストップ中に(B)ボタンを押すと、リセット表示に戻ります。

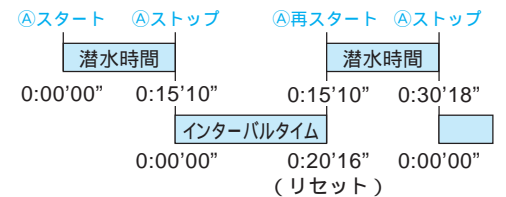
計測ストップ中に(C)ボタンを約1秒間押し続けて時刻モードに戻ったときもリセットされます。

計測例)

潜水を1回で終了する場合



休息後、もう1回潜水する場合

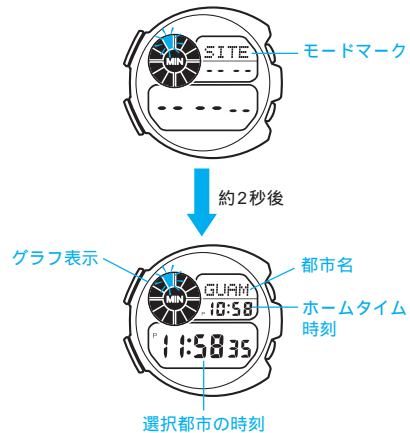


サイト機能の使い方

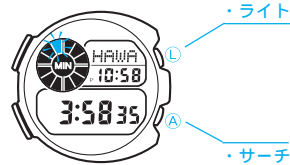
サイト機能は、ダイビングスポットである世界10箇所の時刻をワンタッチで知ることができます。なお、10箇所の都市名と時差は任意に変更できます。

表示の見方

サイトモードに切り替えると、モードマークを表示後、前回このモードで最後に見た都市の標準時を表示します。



都市のサーチ



①ボタンを押すごとに、都市名と選択都市の時刻を表示します。

サイトモードでボタン操作をしないと、1~2時間後自動的に時刻モードに戻ります。

サイトモードで表示される時刻は、時刻モードで表示される時刻に連動しています。時刻があっていないときは、27ページをご覧ください、時刻とホームタイム設定を修正してください。

サイトモードに切り替えるには、時刻モードのときにCボタンを1回押します。



プリセット都市一覧表

都市名		時差	位置
CAYMAN	ケイマン	-5.0	カリブ海
GALAPAGOS	ガラパゴス	-6.0	西太平洋
GBR	グレートバリアリーフ	10.0	オーストラリア北東部珊瑚礁
GUAM	グアム	10.0	東太平洋
HAWAII	ハワイ	-10.0	太平洋中部
JAPAN	日本	9.0	東太平洋
MAURITIUS	モーリシャス	4.0	インド洋西部
MALDIVES	モルディブ	5.0	インド洋北部
RED SEA	紅海	2.0	紅海
TAHITI	タヒチ	-10.0	南太平洋

サマータイムの設定 / 解除

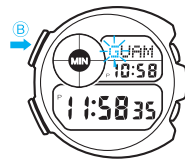
サマータイムは各都市ごとに設定できます。

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

1 セット状態にする

②ボタンを約1秒間押し続けます

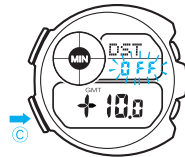
都市名の1桁目が点滅します。



2 サマータイム設定に切り替える

③ボタンを14回押しします

DSTと表示し、OnまたはOFFが点滅します。都市名14文字分を送ります。



3 設定または解除する

①ボタンを押します

On : 設定
OFF : 解除



4 セットを終わる

②ボタンを押します

点滅が止まります。

サマータイムの設定 / 解除で表示を点滅させたままボタン操作をしないと、2~3分後自動的にサイトモードの表示に戻ります。

都市の変更

あらかじめセットしてある都市名とグリニッジ標準時(GMT)との時差を変更して、好きな都市に変更できます。

例)GUAM(+10.0)をHONGKONG(+8)に変更する。

1 セット状態にする

Ⓑ ボタンを約1秒間押し続けます

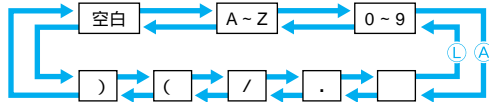
都市名の1桁目が点滅します。



2 都市名を入力する

ⒶまたはⓁ ボタンを押します

Ⓐ:進む
Ⓛ:戻る



3 入力桁を送る

Ⓒ ボタンを押します

点滅桁が右に移動します。
都市名は14文字まで入力できます。



ⒶまたはⓁ ボタンで入力したい文字を表示させ、Ⓒ ボタンで場所(桁)を選んで都市名を入力します。
不要な文字を消すときは、ⒶまたはⓁ ボタンを押して空白を選びます。

4 サマータイム設定に切り替える

Ⓒ ボタンを何回か押します

都市名が入力できる14桁分を送ると、DSTと表示し、OnまたはOFFが点滅します。



5 設定または解除する

Ⓐ ボタンを押します

On :設定
OFF:解除



6 時差セットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

GMT(グリニッジ標準時)との時差が点滅します。

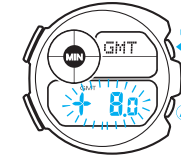


7 時差を入力する

ⒶまたはⓁ ボタンを押します

Ⓐ:進む
Ⓛ:戻る

時差は 11.0 ~ +14.0時間まで、0.5時間ごとに入力できます。



8 セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

点滅が止まります。



都市の変更で表示を点滅させたままボタン操作をしないと、2~3分後自動的にサイトモードの表示に戻ります。

< 都市の変更ができないときは >

Ⓑ ボタンを約1秒間押ししても「HOME」と表示して点滅しないときは、その都市が時刻モードのホームタイムになっています。
このようなときは、他の都市を選ぶか、時刻モードでホームタイムを他の都市に設定するかしてください。

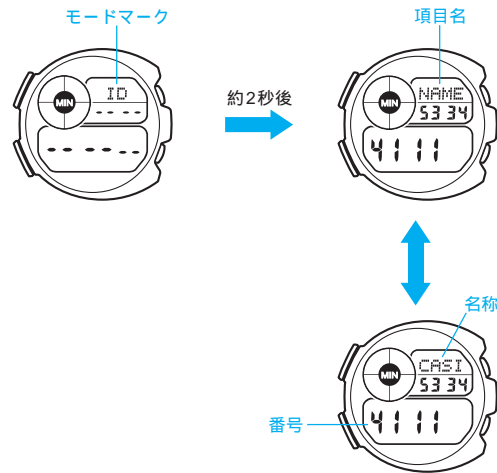
時刻のセットについては、27ページをご覧ください。

ID機能の使い方

ID機能は、名前、Cカード、緊急連絡先、パスポート、血液型を記憶できます。

表示の見方

IDモードに切り替えると、まず名前を表示します。



- ・項目名を表示後、入力されている名称と番号を表示します。
- ・項目名、名称とも5文字以上のときは右から左に流れる「スクロール表示」となります。
- ・データ表示中は、項目名と名称を交互に表示します。
- ・名前、Cカード、緊急連絡先、パスポートは名称16文字、数字10桁が記憶できます。
- ・血液型はABO式とRH式が記憶できます。

ご注意

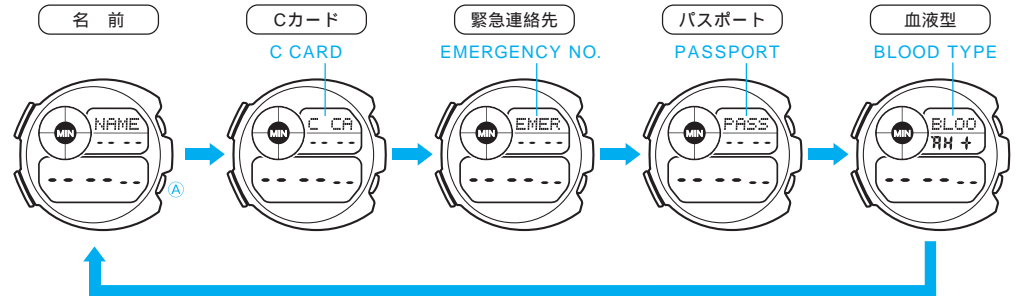
ID機能には、ご自分のデータのみを入力してください。
また、自分のデータを入れた本機を他人に貸したりしないようにしてください。

IDモードに切り替えるには、時刻モードのときにCボタンを2回押します。



データのサーチ

IDモードでAボタンを押すごとに、以下の順にデータを表示します。



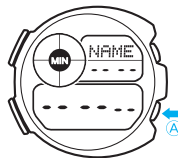
IDモードでボタン操作をしないと、1~2時間後自動的に時刻モードに戻ります。

データの入力

1 項目を選ぶ

Aボタンを押します

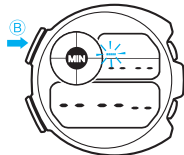
例) データが何も入力されていない場合。



2 セット状態にする

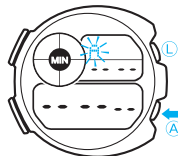
Bボタンを約1秒間押し続けます

名称の1桁目または血液型のABO式が点滅します。

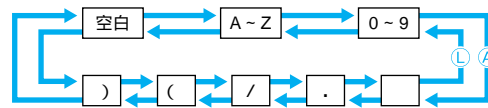


3 名称またはABO式を入力する

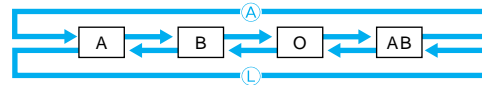
AまたはLボタンを押します



名称の場合



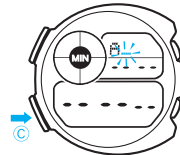
血液型(ABO式)の場合



4 入力桁を送る

Cボタンを押します

点滅桁が右に移動します。
名称は16文字まで入力できます。

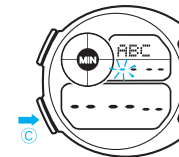


名称はAまたはLボタンで入力したい文字を表示させ、Cボタンで場所(桁)を選んで入力します。
不要な文字を消すときは、AまたはLボタンを押して空白を選びます。

5 入力箇所を切り替える

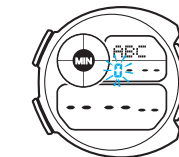
Cボタンを何回か押します

名称が入力できる16桁分を送ると、番号の1桁目が点滅します。

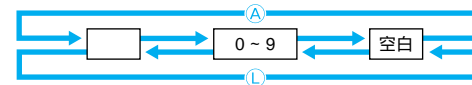


6 番号またはRH式を入力する

AまたはLボタンを押します



番号の場合



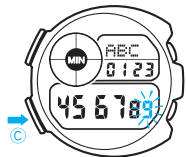
血液型(RH式)の場合



7 入力桁を送る

Cボタンを押します

点滅桁が右に移動します。
番号は10桁まで入力できます。

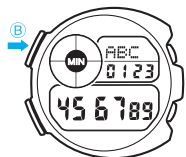


番号はAまたはLボタンで入力したい数字を表示させ、Cボタンで場所(桁)を選んで入力します。
不要な数字を消すときは、AまたはLボタンを押して空白を選びます。

8 セットを終わる

Bボタンを押します

点滅が止まります。



データの入力で、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

アラームの使い方

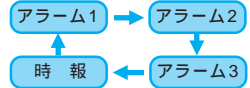
アラームは1分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。アラームは3本あり、いずれも同じ使い方ができます。また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

1 アラームを選ぶ


① ボタンを押します

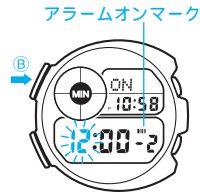
押すごとにアラームと時報が以下の順で切り替わります。



2 セット状態にする

② ボタンを約1秒間押し続けます

時が点滅し、アラームオンマーク「」が点灯します。



3 点滅箇所をセットする

③ または④ ボタンを押します

- ③ :進む
- ④ :戻る



点滅箇所が③ ボタンを押すごとに1つずつ進み、④ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
③・④ ボタンとも押し続けると早送りができます。時のセットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

アラームモードに切り替えるには、時刻モードのときに⑤ ボタンを3回押します。



4 入力箇所を切り替える

⑤ ボタンを押します

分が点滅します。



5 点滅箇所をセットする

⑥ または④ ボタンを押します

- ⑥ :進む
- ④ :戻る



6 アラームのオン/オフ

⑤ ボタンを押します

"ON"(または"OFF")が点滅します。



7 オンまたはオフを選ぶ

⑦ ボタンを押します

"OFF"のときは、アラームオンマークが消えます。



8 セットを終わる

⑧ ボタンを押します

点滅が止まります。





アラーム時刻のセットで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のオン/オフ

アラームモードで① ボタンを押して、オン/オフしたいアラーム表示または時報表示を選びます。

② ボタンを約1秒間押し続けて、セット状態にします。

③ ボタンを押して"ON"または"OFF"を点滅させます。

④ ボタンを押すごとにアラームオンマーク()または時報オンマーク()が点灯/不点灯して、オンとオフが切り替わります。

鳴っているアラームを止めるには、いずれかのボタンを押します。

デモアラーム

アラームモードで① ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

アラームオンマーク



時報オンマーク



タイマーの使い方

タイマーは秒単位で24時間までセットでき、セットした時間を経過(タイムアップ)すると10秒間の電子音が鳴ります。また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

タイマーモードに切り替えるには、時刻モードのときに③ボタンを4回押します。



計測のしかた

①ボタンを押すごとにスタート/ストップします。計測がストップしているときに②ボタンを押すと、計測前の時間に戻ります。(リセット)
ロスタイムがあるときは、計測中に①ボタンを押してストップ後、もう一度①ボタンを押します。



計測中、グラフ表示は1秒ごとに点滅し、5分ごとに消灯します。

タイマー方法を選ぶ

リピートタイマー ~ (繰り返し計測) ~
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にセット時間表示に戻ります。

オートリピートタイマー ~ (自動繰り返し計測) ~
タイムアップしても、ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。

タイマーモードで②ボタンを約1秒間押して、セット状態(点滅表示)にします。

④ボタンを押すごとにリピートタイマー/オートリピートタイマー("AUTO"が点灯)が切り替わります。



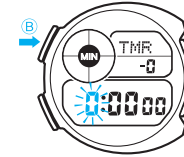
オートリピートタイマーでセット時間が10秒以内のときは、タイムアップ音は1秒間だけ鳴ります。

オートリピートマーク

タイマー時間のセット

1 セット状態にする

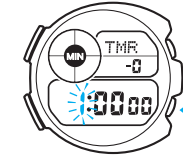
②ボタンを約1秒間押し続けます
時が点滅します。



2 点滅箇所をセットする

①ボタンを押します

①:進む
押し続けると早送りができます。



3 入力箇所を切り替える

③ボタンを押します

③ボタンを押すごとに点滅箇所(セット箇所)が以下の順に移動します。



③ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、①ボタンを押してセットする操作を繰り返し、セットしてください。
24時間をセットするときは 00:00 00"に合わせます。

4 セットを終わる

②ボタンを押します
点滅が止まります。



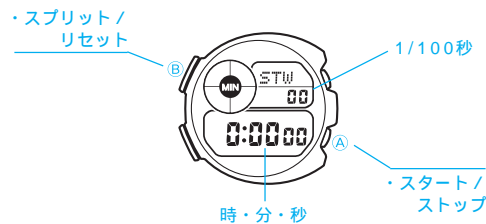
タイマー時間のセットで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

計測のしかた

①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
計測がストップしているときに②ボタンを押すと0時間00分00秒00(リセット表示)になります。
計測中に②ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム(途中経過時間)計測となります。



ストップウォッチモードに切り替えるには、時刻モードのときに③ボタンを5回押します。



通常の計測



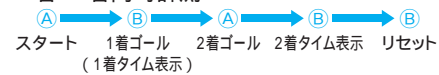
積算計測...

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに②ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

スプリットタイム計測



1着・2着同時計測



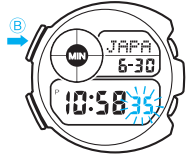
時刻・カレンダーの合わせ方

時刻・カレンダー合わせは、時刻モードで行ないます。

秒の合わせ方 ~30秒以内の遅れ/進みの修正~

1 セット状態にする

② ボタンを約1秒間押し続けます
秒が点滅します。



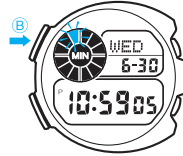
2 秒を合わせる 時報に合わせて

① ボタンを押します



3 セットを終わる

② ボタンを押します
点滅が止まります。



秒合わせのときに、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

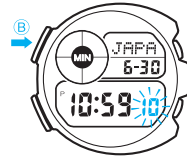
秒が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
時報は「時報サービス 電話117番」が便利です。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

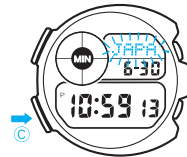
1 セット状態にする

② ボタンを約1秒間押し続けます
秒が点滅します。



2 入力箇所を切り替える

③ ボタンを押します
押すごとに点滅箇所(セット箇所)が以下の順に移動します。



3 セットする

① または④ ボタンを押します

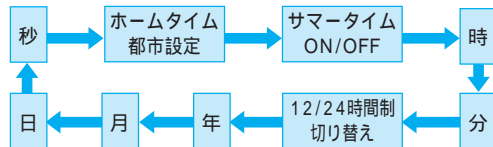


4 セットを終わる

② ボタンを押します
点滅が止まります。



③ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、①・④ ボタンを押してセットする操作を繰り返し、セットしてください。



「ホームタイム都市設定」「時」「分」「年」「月」「日」のときは、① ボタンを押すと1つずつ進み、④ ボタンを押すと1つずつ戻ります。
①・④ ボタンとも押し続けると早送りができます。ホームタイム設定のときの都市名については、12ページのプリセット都市一覧表をご覧ください。
「サマータイムのON/OFF」「12/24時間制切り替え」のときは、① ボタンを押して切り替えます。時のセットのとき、午前/午後(P)および24時間制表示にご注意ください。
曜日は年月日を合わせると自動的にセットされません。

・「年」は西暦で1995~2039年までセットできます。
・カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

時刻・カレンダーのセットで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

ご注意

サイトモードで都市名と時差の変更ができないときは、時刻・カレンダー合わせでホームタイム設定がされている都市です。
このホームタイム設定がされている都市を変更するときは、一度ホームタイム設定を他の都市に変えてから、都市名と時差を変更してください。